

ソワニエ看護専門学校
看護学生募集のご案内

◆試験日
2月17日(土)・3月16日(土)

※詳細は学校までお問い合わせください。
岡山市中区倉田394-3
TEL(086)274-6455

おかやま民医連

MIN-IREN

発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町1-53
岡山県民会館3F
TEL(086)214-3911

2024年2月号 No.367

URL: <http://www.okayama-min-iren.org>

新春のつどい3年ぶりに開催

岡山医療生協

1月14日、岡山コンベンションセンターにて3年ぶりに「岡山医療生協 新春のつどい2024」が開催されました。当日は約300人が参加し、笑顔あふれる一日になりました。



アンコール! まどかバンドの演奏



松原さんと歌ってフレイル予防



岡山協立病院の高橋院長の講演

岡山東商業高校書道部による圧巻のパフォーマンス

New year's meeting

実行委員会では、多くの方に岡山医療生協を知ってもらおうと「岡山医療生協の魅力を知ろう」というスローガンを掲げ、準備してきました。オープニングでは岡山東商業高校書道部による「書道パフォーマンス」が披露され、若さあふれるパフォーマンスに会場は感動の渦に包まれました。最後に「継承」の文字が浮かび上がると大きな拍手が鳴りやみませんでした。続いてボイストレーナー・松原徹氏の「唱歌でフレイル予防」では、筋力や心身をいつまでも健やかに保てるよう、みんなで歌いました。

休憩時間にはロビーに提携店のブースが並び、行列が出来たほどの人気ぶり。その後、岡山協立病院・大谷まどか医師がボーカーを務める「まどかバンド」の演奏があり、客席からアンコールが湧き起こりました。最後に、この日一番楽しみにしていた高橋院長による講演「健康ってなあに?」では医師が考える健康について「これから健康観を語り合いたい、違いを認め合い、お互いの健康観を大切にしていきたい」「一人ひとりの多様な健康を実現することは、やっぱり一人ではできない」という言葉が印象的でした。会場に設置された能登半島地震災害義援金募金箱には、多くの募金が集まり、あらためて人と人のつながりの大切さを感じられました。

2024新春のつどい
実行委員会

点滴

昨年10月、子どもだけでの留守番などを禁じる虐待禁止条例改正案が埼玉県議会に提出され、一度可決されたのをご存知の方も多々おられます。世論の反対の声が大きく慌てて改正案を取り下げることとなったわけですが、どのような経過だったのか。条例第6条(児童の放置の禁止等)というところで、「9歳未満の子を住居その他の場所に残したまま外出してはならない」と取り決め、留守番や子供だけで公園で遊ぶことも禁止対象となるという事でした。虐待や車などの放置事件が多発したからという理由で、しかもこれを見つけたら報告義務が発生すること。私も子供を持つ親なので、痛ましい虐待事件や放置による熱中症等、心が痛む事

件に悲しい思いもあります。しかしながら、この条例には、根本的な子育て世代の現状問題が全く理解できていないのだと感じます。放課後児童クラブに入れない待機児童問題、ワンオペ育児をしているひとり親世帯へのサポート体制、または子育て世帯への時短勤務配慮の難しさ、子どもの貧困問題等。▼岸田政権では、子育て政策の一つに共働き・子育ての推進となつていますが現状も整わないまま、しかも自民党の多数で可決されそうになったことは少子化対策の逆を行っていると言わざるをえず、支援不足の現状を家庭の責任に押し付けようとしているように思えてなりません。民医連の子育て世代実態調査から実情把握と解決方法の提示を早急にしていくべきではないかと感じています。(M)

みんなの想いをひとつに! 平和のメッセージづくり

2月22日(木)~24日(土)に開催される全日本民医連定期総会 in 沖縄に持って行きます



START!
頑張るぞ!
まずは端から
並べよう!

完成!

佐古事務局長
お疲れ様
でした!



布に合わせて
アップリケを
ハサミで
チョキチョキ!



iPadで
時間を計って
丁寧にアイロン
接着!



津山医療生協 2023年 健康集会

「オーラルフレイルを予防しよう」



クリスマスムードあふれる和やかな雰囲気楽しい学びの場に

12月16日(土)、
「組合員参加型の健康集会を」をテーマに開催。41名が参加しました。最初は作業療法士からフレイル・オーラルフレイルについての話があり、今日この一日すべてがフレイル予防であること、歌を唄うことは呼吸や声のフレイル予防に繋がります。その後職員で結成されたおやじバンドの演奏で「なごり雪」



おやじバンド「ローガンズ」の演奏

や「川の流れるように」、「クリスマス・イブ」等を熱唱し、会場は温かい雰囲気に包まれました。
「若い頃を思い出して懐かしく唄えた」「声が出にくかったり、息が続かなかつたりと老化が気になった」等の感想が寄せられました。
住吉 由里
(津山医療生協)



フレイル予防をみんなで実践！歌声に包まれた会場の様子

玉島協同病院

ミニ健康展が開催されました

11月10日 南浦小学校体育館(倉敷市玉島)

ミニ健康展は地区の愛育委員が主催し、小地域ケア会議の共催で開催されています。当日は水島協同病院から研修医2名、玉島協同病院から看護師・MSW・事務各2名と健康事業部員3名が参加しました。毎年同地区への胸部レントゲン

検診車の派遣に合わせて実施されていましたが、コロナ禍の影響で久しぶりの開催となりました。
当日はあいにくの雨模様も重なり、50名程度の参加者となりましたが、高齢者と高血圧に関する医療講話や日頃の生活や健康状態などの



個別の健康相談

相談、大腸がん検診の重要性などお話しすることができました。無医地区でもある南浦での健康展に参加する



高血圧のデメリットについて説明を聞く参加者

意義は大きく、引き続き関わっていききたいと思います。
青木 弘人
(玉島協同病院 事務局長)

私のお気に入りグルメ

お正月気分も抜けた頃、店頭を飾るチョコレートによって風味や口溶けが目引かれる季節。デパトでは、世界中のブランドチョコレートが競って売られている。若い頃は、この時期に自分でチョコレートを買うことはためらいがあり、売り場を横目に何度か通り過ぎたものだ。しかし、中年以降は「この時期にしか買えないのだから」と開き直って、様々なブランドを買って来た。
実際、ブランドによって風味や口溶けがかなり異なるので、それなりに楽しめるのだ。高級チョコレートとなると一粒500円以上のもものもざらにある。そんなことを数年繰り返して、結局はお気に入りのブランドが1番(私は断然ジャンポール・エヴァン)と気が付き、他のブランドは買わないことに決めた。また、



最近では東京の小さなチョコレート屋さんがお気に入りです。オーラルフレイルを予防するために、奥が深いチョコレートの世界、一度踏み込んでみては？

神谷 伸利
(岡山ひだまりの里病院 薬剤師)

3年ぶりに対面開催



中堅事務職員研修会

9月16日(土) 第一クールでは、NPO朝日訴訟の会の川谷さんの案内で記念展示室を見学し、午後から中央社会保障学校に参加しました。朝日茂さんの想いや浅沼裁判、奥野裁判官の意見が受け継がれ、憲法25条の権利が守られる社会を強く願いました。
11月11日(土) 第二クールでは、午前にEAPカウンセラー・野崎さんから「逆境や困難にあっても回復・適応していく方法(レジリエンス)」、「相手の意見を尊重しつつ自分の意見も伝える方法(アサーティブ)」、「物事を別の視点から捉える方法(リフレミング)」を、午後には元全日本



朝日訴訟記念展示室にて

視点から捉える方法(リフレミング)」を、午後には元全日本
とよりよかったです。
太田 真理子
(中野けんせい)

1月号読者カードより

新年の抱負を読んで、2024年も1年間みなさん心身ともに健康で良い年になればと思いました。

K・O(林道倫精神科神経科病院)

ナースキャップを戴帽され、ナイチンゲールの前に立ち、自分自身が1歩成長したように感じた戴帽式。今は看護師1年目として現場で頑張っています。 S・T(林道倫精神科神経科病院)

新しいことが始まる新年。学びの新しいステージに向かう戴帽式。目標を持って1年を充実して過ごすことができるといいですね。期待が膨らみます。 黒ひげ(林道倫精神科神経科病院)